



Nomura Research Institute

2022年2月14日
株式会社野村総合研究所

野村総合研究所、CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、3年連続で最高評価を獲得

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、2022年2月10日、国際環境非営利団体 CDP による 2021 年の「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「リーダー・ボード」の一社として認定されました。この認定は 3 年連続であり、NRI のサプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減目標や気候変動リスク低減に関する対応、並びにサプライヤーに対する温室効果ガス排出削減の取り組み支援等が、グローバルリーダーにふさわしいと評価されたことによるものです。

なお、2021年12月には、同じく CDP による 2021 年の気候変動に関する調査において、NRI は最高評価である「CDPA リスト」企業にも選定²されています。



■ 「サプライヤー・エンゲージメント評価」について

CDP は毎年、「CDP 気候変動質問書」を用いて、世界の株式時価総額上位の企業を対象に、各社の温室効果ガス排出削減活動や気候変動緩和対策の取り組みなどを調査しています。2021 年度は 13,000 を超える企業が開示をおこないました。「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、CDP 気候変動質問書に対する各社の回答の中から、特にサプライヤーとのエンゲージメントに関する項目のみを基準に評価されます。

2021 年の「サプライヤー・エンゲージメント評価」では、世界全体で 500 社を超える企業が最高評価の「リーダー・ボード」に選定され、日本企業からは NRI を含む 105 社が選定されました。

■ 気候変動に関する NRI とサプライヤーとのエンゲージメント

NRI は、サプライチェーン全体で事業活動に伴う温室効果ガス排出量を削減するために、「取引先の 7 割が SBT³ 水準の温室効果ガス排出削減目標の設定する」という目標を設定しています。また、国内外のパートナー企業向けに「サステナビリティダイアログ」を毎年開催し、気候変動を含むサステナビリティに関するテーマについての意見交換や温室効果ガス目標の設定方法の解説などを行っています⁴。加えて、2021 年度から Scope3 排出量⁵をより正確に把握する目的で、CDP サプライチェーンプログラム⁶にも参加しています。

気候変動に関連して、NRI がサプライヤーに対して行ってきたこれらの働きかけが、国際的に高いレベルにあると評価され、今回の認定につながったものと考えています。

NRI グループは、「未来創発」の企業理念の下、これからもステークホルダーの皆さまと共に気候変動問題をはじめとした社会課題解決を通じて、持続可能な未来社会づくりに貢献していきます。

¹ CDP：CDP は、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買組織の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非営利組織

CDP 「サプライヤー・エンゲージメント評価」については、下記 CDP のウェブサイト参照

CDP ウェブサイト（英語） <https://www.cdp.net/en/research/global-reports/engaging-the-chain>

² 「野村総合研究所、CDP 気候変動調査において最高評価となる「A リスト」企業に 3 年連続で選定」:

NRI からのお知らせ（2021 年 12 月 13 日） https://www.nri.com/jp/news/info/cc/1st/2021/1213_2

³ Science Based Targets (SBT)：地球の気温上昇を産業革命前からの気温と比べて 2°C未満に抑えることを目的とした、企業による科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標。気候変動課題の対応を推進するため、気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体である CDP、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) の 4 団体により設立された SBT イニシアチブにより認定を受ける。

SBT イニシアチブ ウェブサイト（英語） <https://sciencebasedtargets.org/>

⁴ 「パートナー企業とのサステナビリティダイアログ」:

NRI 公式サイト https://www.nri.com/jp/sustainability/management/sustainability_dialog_with_business_partners

⁵ Scope3 排出量：Scope1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出）、Scope2(他社から供給された電気、熱・蒸気使用に伴う接排出)以外の間接排出量。サプライチェーン各社での製造工程や、従業員の通勤・出張などに伴う排出

⁶ CDP サプライチェーンプログラム：CDP サプライチェーンプログラムへの参加メンバー企業・団体が CDP の開示システムを通じて、取引先に対して質問書への回答要請を行う仕組み

【お知らせに関するお問い合わせ先】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 玉岡

TEL：03-5877-7100 E-mail：kouhou@nri.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社野村総合研究所 サステナビリティ推進室 本田、高橋

E-mail：41sustainability@nri.co.jp_

【ご参考】

■NRI のサステナビリティに関する取り組み

- ・ ウェブサイト <https://www.nri.com/jp/sustainability>
- ・ 統合レポート <https://ir.nri.com/jp/ir/library/report.html>
- ・ ESG データブック https://www.nri.com/jp/sustainability/library/back_number
- ・ サステナビリティブック https://www.nri.com/jp/sustainability/library/back_number